

セットアップガイド

アドバンストコントローラー

MODEL PN-ZP45

当モデルは精密機器です。

本ガイドならびに取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本ガイドの取り扱いに関して

- 本ガイドは、コントローラーを長期間良好な状態でご使用いただくためのセットアップ方法を記載しています。
- 本ガイドは、製品の改良・改善等による仕様変更や継続した評価の結果により、予告なく変更すること があります。あらかじめご了承ください。

シャープ株式会社

Ver. 1.0 2020/9/23

ビジネスソリューション事業本部 システムソリューション事業部

第1章	セットアップ手順	
	<u>1-1. セットアップの流れ</u>	1
	<u>1−2. 準備</u>	2
	<u>1-3. Windowsのセットアップ</u>	2
	1-4. サイネージ/電子黒板設定ツールの実行	3
	<u>1-5. HEVC 拡張機能のアップデートについて</u>	7
	1-6. 仮想オーディオドライバーのインストールについて	8
		9
	1-8. アプリケーションソフトのセットアップ/インストール	10
第2章	その他の設定	
	<u>2-1. 通知とアクションの設定について</u>	12
	2-2. ストレージ (SSD) の書き込み保護機能について	13
	2-3. Windows Update について	13
	<u>2-4. ウイルス対策について</u>	14
	2-5. 回復ドライブ、システムイメージ及び復元ポイントの作成について	15
	<u>2-6. バックアップ/回復オプションについて</u>	17
	2-7. モバイルホットスポットの設定について	18
第3章	再セットアップ	
	<u>3-1. 回復ドライブの作成</u>	19
	<u>3-2. システムイメージの作成</u>	21
	3-3. 回復ドライブとシステムイメージを使った復元	24

本機を初めて使用するときは、セットアップを行う必要があります。

メモ

- ・セットアップには USB マウスと USB キーボードが必要です。
- ・初回起動中は、電源をオフしないでください。Windows が起動しなくなる場合があります。
- ・本機をインターネットに接続すると、自動的に Windows のライセンス認証が行われます。
 - Windows のプロダクトキーを入力する必要はありません。(Windows ラベルにはプロダクトキーが印刷されていません。)
 - ライセンス認証をせずにご利用いただくことは可能ですが、安定してご利用いただくため、インターネットに接続してください。

※ H.265/HEVC の動画ファイルを使用する場合、アップデートせずに利用すると、c:¥windows¥temp にエラーファイルが大量に 作成され SSD 容量が減少するとともにパフォーマンスが低下いたします。必ずインターネットに接続して、H.265/HEVC の拡張機能 をアップデートしてください。アップデート方法については、「1-5. HEVC 拡張機能のアップデートについて」を参照ください。

1. セットアップ手順

1-1. セットアップの流れ



1-2. 準備(コントローラーの電源を入れる前にご確認ください)

マウス、キーボード、ディスプレイが接続されていること、ディスプレイの電源が入っていることを確認して、コントローラーの電源を入れる。

(注意)Windows のセットアップ中は、本機に USB メモリーを差さないでください。

<u>1-3. Windows のセットアップ</u>

- 1) ディスプレイの電源を入れて、コントローラーの電源スイッチを押す。
- Windows 10 使用許諾契約」画面が表示されたら、「MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS」の内容を確認し、[同意]をクリックする。
- 3) 「この PC を使うのはだれですか?」画面が表示されたら、「名前」、「パスワード」、「パスワードのヒント」を入力し、[次へ] を クリックする。
 - 入力したパスワードは忘れないようにしてください。



4) 「お待ちください…」画面が表示された後、Windowsのセットアップが完了すると、デスクトップ画面が表示される。



1-4. サイネージ/電子黒板設定ツールの実行

最新版が提供されておりますので、必ず最新版にアップデートしてから実施するようにしてください。 URL: https://jp.sharp/business/lcd-display/lineup/pnzp45/

※ 管理者権限のあるユーザーアカウントで実行してください。

- ※ Microsoft アカウントに関連付けしているユーザーアカウントでは自動ログオンできません。
- デスクトップ画面の「サイネージ/電子黒板設定ツ ール」をダブルクリックする。
 または、「スタート」メニューの
 サイネージ/電子黒板設定ツール
 サイネージ/電子黒板設定ツール
 をクリックします。



- 2) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合 は、[はい]をクリックする。
- 3) 用途に応じたボタンをクリックする。
 [サイネージ用途]
 ⇒ サイネージ用途に適した設定に切り替えます。

[電子黒板用途]
 ⇒ 電子黒板用途に適した設定に切り替えます。

[標準設定] ⇒ Windows の標準設定に切り替えます。

- 各設定を個別で変更したい場合は、その項目のチェックボックスをクリックする。
- 5) [OK] をクリックする。
- 6) 設定が実行される時に、セキュリティレベルが低下 する設定を行った場合は、セキュリティアラートの 画面が表示されます。内容を確認し「OK」をクリッ クする。
- 右図が表示された場合は、ログオンパスワードを入 カし、[OK] をクリックする。
 - 「共通設定」の「自動ログオンする」をチェック すると、右図が表示されます。
 - 入力したパスワードを確認したい場合は、「パスワードを表示」をチェックしてください。
 - ログオンパスワードを設定していない場合は、未 入力の状態で[OK]をクリックしてください。
 - 入力されたログオンパスワードが間違っている
 と、コントローラー起動時に自動ログオンできません。



サイネージ/電子黒仮設定ツール X	
以下の設定によりセキュリティレベルが低下します。 - UAC (ユーザーアカウント制御) を無効にする。On - Windows Updateの自動更新を無効にする。On - Fうイバーの動更新を無効にする。On - Windows Media Playerの自動更新を無効にする。On - Windows Defenderを無効にする。On	
OK キャンセル	
自動ログオン	×
ユーザー名:SHARP のパスワードを入力してください。	
□ パスワードを表示	
OK ++	ッセル

セットアップガイド

- 名図が表示された場合は、接続しているインフォメ ーションディスプレイに応じた通信速度を設定し、
 [OK]をクリックする。
 - 「サイネージ用途」の「e-Signageの通信速度を 設定する」をチェックすると、右図が表示されます。
 - [初期値一覧]をクリックすると、ディスプレイ の通信速度の初期設定一覧が表示されます。
 - 次の使い方の場合は、e-Signageの取扱説明書の 「スケジュール受信・番組表示」 – 「e-Signage クライアントスケジューラについて」 – 「e-Signage クライアントスケジューラのメニ ュー」 – 「パネル制御」の説明を参照頂き、ディ スプレイの制御設定を変更してください。
 - RS-232C ではなく LAN 接続でディスプ レイを制御する場合
 - 複数台のディスプレイを制御する場合
- 1日図が表示された場合は、接続しているインフォメーションディスプレイに応じた解像度を設定し、

 [OK]をクリックする。
- 10) 設定中は「設定を変更しています」と表示されます。

11) 再起動の確認画面が表示された場合は、[OK] をク リックしてコントローラーを再起動する。

e-Signage 通信速度設定	\times
インフォメーションディスプレイと RS-232C で接続する場合の e-Signage の通信速度を設定します。 ・使用するインフォメーションディスプレイの「通信速度」の設定に合わせてください。 ・ インフォメーションディスプレイの「通信速度」の初期設定・制度をりックして確認してくだ さい。該当するシリーズ名がない場合は、インフォメーションディスプレイの取扱説明書をご確認ください。 ・ インフォメーションディスプレイを割削しない場合や、インフォメーションディスプレイと LAN で接続する 合は、e-Signage クライアントスケジューラの設定画面で「パネル制御」の設定を行ってください。詳細 は e-Signage の取扱説明書をご覧ください。	場
9600bps ~ 初期服命定一覧 OK キャンセ	ιL

た場合に、ディスプレイに合わせた映象信号が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
線の設定 線型 自転プラブルする ロップ細胞を表示しよい 調証上のサイズを100%にする 153.R2 インフォンラムディスシレイダウンローダー」を自動起動する ディスシレイな認識できないたと知合の死空の解除要と認定する Naching Tanate 研究してる
(象別教室 動料ングンする) ニング増勝を表示しない 画面上のサイズを100%にする STAR4 インフォン・コレディスジレイダウンローダー」を自動起動する ディスジレイな認識できなかった場合の成年の新得度を認定する Wandarg Tameを読んする。
(後の終定 数定 日本ジョンステム) 日本ジョンストレモンの使用目のサイズを1009年できる 1533-82 インフォントンモンの使用目のサイズを1009年できる 1533-82 インフォントンモンディンプレイダン・ロージェー」を自転記載する ディンコーイ2318 ではわったも含むの見定の解像度包没定する なって1994 ロージョン
後の数定 自知2ゲブーオる トリン通動を表示し入い トリン通動を表示し入い 「おんけし」の加速でを知った「インジーグを」」を自動記載する ではんけし、「加速でを知った場合の気況の解集度を設定する やいに現象 やいて現象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1800年年 各部レジナオる ハップ通道を発示しない 面面上のサイズを100%にする 1818年2インスメーションディスシレイダウンローダー」を自動起動する ディスプレイな認識できないたと知るの気空の解除更を認定する National Tanana Way ようる
MARE 目れしプロンチネ ロック値面を表示しない 面面にのフキストやモロを項目のサイズを1000%にする SEALAP インフォメーションティスリー/ダウンローダー」を自動活動する ディスリーイ222 (でなかっとならの見定の解検度を設定する Machady Tumeを有効にする ット1日時の
ロック画動を終示しない 画面にの字も入りやその他項目のサイズを100%4にする 語面にの字も入りやその他項目のサイズを100%4にする ISBARPインフォナーションディスプレイダウンローダー」を自動起動する ディズブレイを招募でされかったと場合の所定の解像度を設定する watchagi Tameを有効にする マージ期後
画面上のテキストやその他運用のサイズを100%にする [SHARP インフォーションディスブレイダン」ローダー」を自動起動する ディスフレイ名記録できなかった場合の既定の解像度を設定する Watchog Timeを有効にする マージ目前を
・Interインジオメーション・インジレイス・ジレース・コンと言いの品がする ディスプレイを認識できなかった場合の既定の解除度を設定する Watchdog Timeを有効にする マージョル
Watchdog Timesを有効にする ネージ7回30
Z = 1/III/#
11 2 mag 1140(コーザーアカウ) 水制制の支援効率する
全てのファイルとフォルダーを表示する
Windows Updateの自動更新を無効にする
日本に設定する
さんない
ーン通知を無効にする syeeの自動更新を無効にする
す 度を設定する
) iの「WinSAT」を無効にする
ageプランルにする
neouter」と目動にありする 」の常能ソフトを無効にする
Cのため、高速スタートアップを無効にする
デスクトップテーマを「SHARP e-Signage」にする
エッジ スワイブを無効にする Windows Defenderを無対します。
·黑板用途
電源管理を「電子黒板プラン」にする
「SHARP ベンソフト」を自動記動する
サイネージ用途 電子黒板用途 標準設定
チェックされていない項目について OK キャンセル
チェックされていない項目について OK キャンセル
チェックだれていない項目について OK キャンセル
チェックされていない項目について OK キャンセン
チェックされていない項目について OK キャンセン

キャンセル

※再起動しないと設定した内容の一部が反映されません。

OK

メモ

・「標準設定」を選んだ場合、各設定項目は以下の内容に設定されます。

共通設定

白動ログオンする	・ 白動ログオンしない
IMF ツールバーをタスクバーに入れる	・ IMF ツールバーを表示する
	 ・ ロック画面を表示する
タスク スケジューラの「Plug&Play Cleanup」を無な	かにする \cdot タスク スケジューラの [Plug & Play Cleanun] を有効にする
画面上のテキストやその他項目のサイズを 100%にす	る・ 画面サイズや解像度に応じて、テキストやその他項目のサイ
	ズを自動スケーリングする
	-ダー」 · 「SHABP インフォメーションディスプレイダウンローダ
を自動起動する	ー」が自動起動しない
ディスプレイを認識できなかった場合の既定の解像度	を設定 ・ディスプレイを認識できなかった場合の既定の解像度を選
する	択された解像度に設定する
Watchdog Timer を有効にする	・Watchdog Timer を無効にする
UAC(ユーザーアカウント制御)を無効にする	· 既定 - プログラムがコンピューターに変更を加えようとす
	る場合のみ通知する
全てのファイルとフォルダーを表示する	 ・隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示
	しない
	· 登録されている拡張子は表示しない
Windows Update の自動更新を無効にする	· 更新プログラムを自動的にインストールする (推奨)
ドライバーの自動更新を無効にする	 ドライバーを自動インストールする
	 デバイスの製造元によって提供されるデバイスアプリケー
	ションと情報を自動的に取得する
NTPの同期間隔を3時間に設定する	 NTPの同期間隔を7日間にする。ただし、Windows10 loT
	Enterprise 2016 LTSB の場合のみ同期間隔は1日となり
	ます。
メディアの自動再生をしない	・メディアの自動再生をする
バルーンヒントを表示しない	 バルーンヒントを表示する
トースト通知とバルーンヘルプを表示しない	・トースト通知とバルーンヒントを表示する
Windows Media Player の自動更新を無効にする	・「更新プログラムの確認」を「1週間に1回」にする
	・インターネットからメディア情報を取得する
	・ 追加のメティア情報をインターネットから取得して音楽ノ
	アイルを史新9る
	・ ノアイル再主まには回期時に自動的に使用権限をダリノロ
	- にする - 保護されていスファイルの再新が必要かどうかを白動的に
	体認する
	・デバイスの時計を自動的に設定する
	 一意のプレイヤーDをコンテンツのプロバイダーに送信しない
	マイクロソフトのソフトウェアおよびサービスの品質向上
	に役立てるため、プレイヤーの使用データをマイクロソフト
	に送信する
	・ 最近再生したファイル/よく再生するファイルの一覧を保管
	し表示する
e-Signageの通信速度を設定する	· e-Signage を「パネル制御しない」に設定する
Windows スタートアップのサウンドを再生しない	· Windows スタートアップのサウンドを再生する
Aero プレビューしない	・ Aero プレビューを使用する
タスク スケジューラの「Defrag」を無効にする	· タスク スケジューラの「Defrag」を有効にする
タスク スケジューラの「WinSAT」を無効にする	・タスク スケジューラの「WinSAT」と
	「WsSwapAssessmentTask」(Windows 8.1/10) を有
	効にする

電源管理を「e-Signage プラン」にする	・ 電源プランを「バランス (推奨)」にする
「e-Signage Client Scheduler」を自動起動する	・「e-Signage Client Scheduler」が自動起動しない
「SHARP ペンソフト」の常駐ソフトを無効にする	・「SHARP ペンソフト」の常駐ソフトを有効にする
Wake On LAN/RTC のため、高速スタートアップを無効にす	 高速スタートアップを有効にする
వ	(Wake On LAN/RTC は正しく動作しません)
ネットワーク上のデバイスへの自動接続確認を行わない	 ネットワーク上のデバイスに自動的に接続するか確認する
	メッセージを表示する
デスクトップテーマを「SHARP e-Signage」にする	・デスクトップテーマを「Windows」(Windows8.1/10)ま
	たは「Windows7」(Windows 7)にする
エッジスワイプを無効にする	・エッジスワイプを有効にする
Windows Defender を無効にする	・Windows Defender を有効にする

雷

電源管理を「電子黒板プラン」にする ・ 電源プランを「バランス (推奨)」にする 「SHARP ペンソフト」を自動起動する ・「SHARP ペンソフト」が自動起動しない

 ディスプレイのサイズや解像度に応じて、テキストやその他項目のサイズが自動スケーリングされるようにしたい場合は、「共通設定」 の「画面上のテキストやその他項目のサイズを100%にする」のチェックを外します。

・「共通設定」の『「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」を自動起動する』がチェックされていると、搭載ソフ トに更新があった際に、タスクトレイに通知が表示されます。更新通知を表示したくない場合は、チェックを外してください。

・「サイネージ用途」の「Windows Update の自動更新を無効にする」をチェックした場合、安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新が無効になります。Windows Update を行う場合は、「2-3. Windows Update について」の手順に従ってください。

・「トースト通知とバルーンヘルプを表示しない」を利用する場合は、サイネージ/電子黒板ツールを最新版にアップデートしてくださ い。最新版に変更しても表示される場合はアプリケーション毎に設定を行う必要がありますので、「2-1.通知とアクションの設定につ いて」の手順に従って設定を行ってください。

<u>1-5. HEVC 拡張機能のアップデートについて</u>

- ・H.265/HEVC の動画ファイルを使用する場合は、インターネットに接続し、HEVC 拡張機能のアップデートが必要です。
- HEVC 拡張モジュールをアップデートしない状態で H.265/HEVC のファイルをデスクトップなどのサムネイルが作成されるフォル ダーにコピーすると、サムネイル作成時にエラーが発生し、C:¥Windows¥Temp のフォルダーにエラーファイルが大量に作成されま す。SSD 容量が減少するとともにパフォーマンスが低下いたしますので、必ずアップデートを実施してください。
- アップデートしない状態で、H.265/HEVCの動画ファイルをクリックした場合は、C:¥Windows¥Temp にある全てのファイルをコントローラーから削除してください。

■HEVC ビデオ拡張機能のアップデート方法

コントローラーをインターネットに接続する。 インターネットに接続すると自動でアップデートされます。 ライセンス認証がされていない場合は、ライセンス認証が自動で実施された後、約3分でアップデートされます。

■HEVC ビデオ拡張機能のアップデートの確認方法

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「アプリ」-「アプリと機能」をクリックする。
- アプリー覧の中の「HEVC Video Extensions from Device Manufacture」が「デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡 張機能」に変更されていることを確認する。

「HEVC Video Extensions from Device Manufacture」 が表示されている場合は、アップデートされていませんので、 しばらく時間をおいてから再度、確認をしてください。

5 DKE		- L X
☆ ホーム	アプリと機能	
設定の検索の	SHARP Touch pen Management Tool	2020/06/12
דלי	SUSI	21.1 MB
■三 アプリと機能	アプリ インストーラー	8.00 KB
	Microsoft Corporation	74.2 MB
四二 オフライン マップ	▶ オンテル® チップセット デバイス ソフトウェア	2020/07/20
Web サイト用のアプリ		2020/07/20
ロ ビデオの再生	インテル® マネジメント・エンジン・コンポーネント	161 MB 2020/07/20
〒 スタートアップ	サイネージ/電子黒板設定ツール	2020/06/04
	デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能 Microsoft Corporation	8.00 KB 2020/07/20

<アップデート後>

デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能 Microsoft Corporation

<アップデート前> HEVC Video Extensions from Device Manufactur...

Microsoft Corporation

■ライセンス認証の状態確認

インターネットに接続すると、ライセンス認証が自動で実施されます。 ライセンス認証については、以下の手順で確認してください。

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「更新とセキュリティ」をクリックする。
- 3) 「ライセンス認証」をクリックする。
- 4) ライセンス認証されていることを確認する。



セットアップガイド

1-6. 仮想オーディオドライバーのインストールについて

e-Signage や Windows Mdedia Player で動画再生中にディスプレイの電源を OFF/ON すると、Windows Media Player が停止し 黒画面になる場合があります。また、以下のように音声出力ができないディスプレイに接続する際は、動画再生時にコマ落ちや遅延が生 じる場合がありますので、必ず本ドライバーをインストールしてください。

・HDMI 出力を DVI 変換してディスプレイに接続する場合

- ・HDMI 出力をスピーカーが搭載されていないディスプレイに接続する場合
- ・HDMI 出力を音声出力端子のないディスプレイに接続する場合

インストール手順:

- エクスプローラーから C:¥SHARP¥Utility¥SHVirtualAudioDriver にある Setup.exe を実行する。
 途中で「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されることがあります。その場合、「はい」を選択してください。
- 2) 画面の指示に従ってインストールを実行する。 途中で「Windows セキュリティ」のダイアログが表示されることがあります。その場合、「インストール」を選択してください。
- 3) インストールが完了すると、再生デバイスに「SHVirtualAudioDevice」が追加されます。

確認方法:

- 1) 「Windows キー」と「Xキー」を同時に押して、「デバイスマネジャー」を 起動する。
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」をクリックし、 SHVirtyalAudioDevice が表示されることを確認する。



使用方法:

音声出力できないディスプレイに接続する場合は、以下の手順で出力デバイスを変更してください。

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「システム」をクリックする。
- 3) 「サウンド」をクリックする。

出力デバイスが音声出力したいデバイスになっていることを確認してください。

音声出力できないディスプレイに接続する場合は、

「スピーカー(SHVirtualAudioDevice)」を選択してください。

音量調整やミュート操作が可能ですが、仮想デバイスのため音は出力されません。

← Rz	>
☆ ホーム	サウンド
設定の検索の	ロンリアパスを通知してくたさい
	スピーカー (SHVirtualAudioDevice) 〜
927L	一部のアプリでは、カスタム出力設定を使用します。それらの設定はサウンドの 詳細設定でカスタマイズできます。
D 712721	デバイスのプロパティ
ゆゆ サウンド	ボリューム
□ 通知とアクション	d») 100
シ 集中モード	▲ トラブルシューティング サウンド デバイスを管理する

アンインストール方法:

「プログラムと機能」(「アプリと機能」)から「SHVirtualAudioDriver」を選んで「アンインストール」をクリックする。

1-7. 画面解像度の変更

Windows の「ディスプレイの詳細設定」で解像度を変更すると、正しく表示できないことがあります。画面解像度は、以下の手順に従って、「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で変更してください。

- 1) デスクトップを右クリックする。
- 「インテル®グラフィックスの設定」をクリックする。
- 3) 「ディスプレイ」をクリックする。

- 4) 「解像度」から変更したい設定を選択する。
- 5) 「適用」をクリックする。
- 6) 確認画面が表示された場合は「はい」をクリックする。
- インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」
 を閉じる。



•

(5)

i⊒#5 ✔0

20-955 ▼5×2304×20-955 於現1547時75 本所能の20-0578 再像かり発展法にする

プロファイルの選択 Macontois

<u>1-8. アプリケーションソフトのセットアップ/インストール</u>

用途に応じて、アプリケーションソフトのセットアップやインストールを行います。

■サイネージ用途の場合

- 1) 「スタート」メニューー「Windows アクセサリ」ー「Windows Media Player」をクリックする。
- Windows Media Player へようこそ」画面が表示 されたら、「カスタム設定」を選択し、「次へ」を クリックする。
- Windows Media Player 、
 Windows Media Player へようごそ
 Windows Media Player の最初の設定を選択してください。これらの設定は、後で変更することができます。
 (推奨設定(R)
 Windows Media Player をメディア再生用の設定のブロブラムに設定し、使用確認およびメディア情報を自動的に ダウンロードすることによりメディアアオルを更新して、プレーヤーから Microsoft に使用データを送信します。
 (カスタム設定(C)
 プライバシー、再生、およびオンラインストアの設定をカスタマイズします。
 推奨設定を使用する場合は、使用状況データが Microsoft に送信されますが、この情報を基にお客様の身元を特定したり、こちらから ご連絡することはありません。
 推奨設定の評価については、オンラインのプライバシーに関する声明を参照してください。
- 「プライバシーオプションの選択」画面が表示され たら、[完了]をクリックする。
 - ※ Windows Media Player は、H.265/HEVCの 4K動画の再生はできません。e-Signage S プ レーヤーでのみ再生可能です。



- 4) e-Signage で Flash コンテンツを利用する場合は、コントローラーをインターネットに接続し、Windows Update を実行して OS に付属の Flash Player を最新の状態にする。
 - ・Windows Update 手順については、「2-3. Windows Update について」を参照してください。
 - ・本機に、アドビシステムズ社が提供している Adobe Flash Player をインストールすることはできません。
 - Flash コンテンツの表示については、アドビ システムズ社のホームページをご参照ください。 https://helpx.adobe.com/jp/flash-player/kb/flash-player-issues-windows-10-ie.html

■電子黒板用途の場合

- ・対象インフォメーションディスプレイをコントローラーに接続して、そのままご利用いただけます。
- ・本機には以下のソフトウェアがプリインストールされています。

ソフトウェア名
タッチペン管理ツール
SHARP ペンソフト
SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー

- ・タッチ操作に関する設定や各ソフトウェアの使いかたについては、インフォメーションディスプレイの説明書を参照してください。
- ・「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」をご利用の場合は、インターネットに接続してください。 自動起動を行う場合は、サイネージ/電子黒板設定ツールを実行し、「共通設定」の「SHARP インフォメーションディスプレイダウン ローダー」を自動起動するにチェックを入れてください。
- ・「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」では、各種ソフトウェアの最新版をダウンロードすることができます。 セットアップ時には、インフォメーションディスプレイダウンローダーを起動し、最新版が提供されているかどうかご確認ください。 最新版が提供されている場合は、ソフトウェアをダウンロードしアップデートを行ってください。

2. その他の設定

2-1. 通知とアクションの設定について

追加したアプリケーションは、サイネージ/電子黒板設定ツールでトーストやバルーン通知を表示しない設定にしても、通知される場合 があります。この場合は、以下の手順で通知をオフすることができます。

- ※ サイネージ/電子黒板設定ツールで「表示する」設定に戻した際にも、トーストによって表示されない場合は、この設定で変更してく ださい。
- 1) 画面左下の検索ボックスに「通知とアクション」と 入力し、「通知とアクションの設定]をクリックする。

 2) 「通知とアクション」画面が表示されたら、「アプリ やその他の送信者からの通知を取得する」を[オン] に設定する。

> 「アプリやその他の送信者からの通知を取得する」 が[オフ]されている場合は、[オン]にしてからアプリ ケーションの設定を変更してください。



 3)「送信元ごとの通知の受信設定」に表示されている アプリケーションで、通知を止めたいアプリケーションを[オフ]にする。



「アプリやその他の送信者からの通知を取得する」
 を[オフ]に設定する。



2-2. ストレージ (SSD) の書き込み保護機能について

 本機の Windows には、ストレージの書き込みを制限する「統合書き込みフィルター(UWF)」機能を搭載しておりますが、動作に 関しては保証しておりません。

2-3. Windows Update について

- ・「サイネージ/電子黒板設定ツール」で「サイネージ用途」の「Windows Update の自動更新を無効にする」をチェックした場合、 安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新が無効になります。その場合は、Windows の重要な更新プログラムを下記の 手順でインストールしてください。
 - 1) コントローラーをインターネットに接続する。
 - 2) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
 - 3) 「更新とセキュリティ」をクリックする。
 - Windows Update」の「更新プログラムのチェック」を クリックする。
 - 5) 以降は、画面の指示に従って操作する。



• OS に付属の Flash Player は、Windows Update で更新されます。

2-4. ウイルス対策について

- ・サイネージ用途に使用する場合、ネットワーク接続でのウイルス感染については、Windows ファイアウォールで、e-Signage が使用するポート(FTP)のみ通信を許可することで強度を高めることができます。インターネットを利用する場合は、VPN(Virtual Private Network)などの対策をとることをお勧めします。
- Windows に付属の Windows Defender を使用することで、スパイウェアやウイルスからコントローラーボードを保護することが できます。Windows Defender を使用する場合は、コントローラーボードをインターネットに接続してウイルスおよびスパイウェアの定義を更新し、Windows Defender を最新の状態にしてください。
- ・その他、サードパーティー製のウイルス対策ソフトを使用する場合は、動作確認の上、お客様の責任でご利用ください。

2-5. 回復ドライブ、システムイメージ及び復元ポイントの作成について

- ・正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法として、回復ドライブとシステムイメージを使用して Windows10 を再インスト ールすることができます。また、復元ポイントを設定することにより、安定動作していた時の状態に復帰させることができます。
- ・回復ドライブとシステムイメージの作成方法については、第3章の再セットアップをご参照ください。
- ※ システムが起動しなくなった場合、回復ドライブとシステムイメージを作成していない場合は、サービス修理対応(有償)となり ますので、事前に回復ドライブとシステムイメージを作成しておくことをお勧めいたします。

復元ポイントの設定をデフォルトでは無効になっています。有効にする場合は、以下の手順に従って有効にしてください。

1) 画面左下の検索ボックスに「復元ポイント」と入力 し、[復元ポイントの作成]をクリックする。

2)	「システムのプロパティ」画面が表示されたら、「シ
	ステムの保護」のタグをクリックし、「構成」をクリ
	ックする。

すべて アプリ ドキュメント 設定 写真 その)他 ~	フィードバック	
田小一致える検索結果 「変元ポイントの作成 コントロールバネル 」 コントロールバネル			
	復元ポイントの作成 コントロール パネル		
復元ポイントの作成			
システムのプロパティ		2	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定	システムの保護リモート		
ジステムの保護を使用して、シ す。	パテムに加えた不要な変更を元に戻し	ŧ	

システムの復元(S).

構成(O)...

キャンセル 適用(A)

保護

無効

システムの復元

す。

保護設定 - 利用できるドライブ

コンピューターを以前の復元ポイントの状態に戻す ことにより、システムに加えられた変更を元に戻しま

復元の設定を構成し、ディスク領域を管理して、復元

復元ポイントを作成するには、その前にドライブを選択し て [構成] をクリックし、保護を有効にしてください。

ОК

👟 Windows (C:) (システム)

ポイントを削除します。

 「システム保護対象」の画面が表示されたら、「設定 の復元」の「システムの保護を有効にする」をクリ ックする。
 その他、「適用」をクリックし、「OK」をクリックす る。

復元ポイントを定期的に作成されますが、現状の状

「システムのプロパティ」の画面で、「作成」を選択

「システムのプロパティ」の画面で、「システムの復

以降の操作は、Windows 画面に従って作業を行い

態をすぐに作成する場合は、

します。

復元を行う場合は、

元」を選択します。

ます。

し システム保護対象 W	/indows (C:)		×
設定の復元 ―			
システムの保護を有効 た不要な変更を元に】	カにすると、コンピューターを前 戻すことができます。	前回の状態に戻して、システムに加け	ť
● システムの保護	度を有効にする		
○ システムの保護	度を無効にする		
ディスク領域の使用量一 システムの保護で最大	、限のディスク領域を使用す	るように調整できます。ディスク領ジ	或が
なくなると、古い復元; ます。	ポイントが削除され、新しい	復元ポイントのための領域が確保る	5n
現在の使用量:	0 パイト		
最大使用量(M):			
このドライブのすべての	復元ポイントを削除します。	削除(D	
	OK(O)	キャンセル(C) 適用(A)	
システムのブロバティ			>
コンピューター名 ハードウ	ウェア 詳細設定 システムの	D保護 リモート	
がない システムの係 す。	₹護を使用して、システムにカ	加えた不要な変更を元に戻しま	
システムの復元・			_
コンピューターを以前の ことにより、システムに す。	の復元ポイントの状態に戻す たかえられた変更を元に戻し	す システムの復元(S)	
保護設定			
利用できるドライブ	1	保護	
Sindows (C:)) (ジステム)	有効	
復元の設定を構成 ポイントを削除します	にし、ディスク領域を管理して す。	、復元 構成(O)	
システムの保護が有 トを今すぐ作成しま	す効になっているドライブの復 す。	元ポイン 作成(C)	
	ОК	キャンセル 適用	(A)
システムのプロパティ	ОК	キャンセル 適用	(A)
システムのプロバティ コンピューター名 ハードウ	OK ウェア 詳細設定 システムの	キャンセル 適用 の保護 リモート	(A)
システムのブロバティ コンピューター名 ハードウ ジステムの何 す。	OK ウェア 詳細設定 ジステムの 呆護を使用して、システムにた	キャンセル 適用 D保護 リモート 加えた不要な変更を元に戻しま	(A)
システムのプロバティ コンピューター名 ハードウ ジステムの何 サステムの復元	OK ウェア 詳細設定 ジステムの 呆護を使用して、システムにか	キャンセル 適用 D保護 リモート 加えた不要な変更を元に戻しま	(A) ×

2-6. バックアップ/回復オプションについて

・本機では、回復の「この PC を初期状態に戻す」機能を使わないでください。

本機能を実施するとプリインストールされているアプリケーションやドライバーがすべて消えた状態になりますのでご注意ください。

※ 本機能を使用して初期化した場合は、サービス修理対応(有償)となりますのでご注意願います。



Windows の初期化が必要になった場合は、取扱説明書に記載の修理ご相談窓口にご相談ください。

2-7. モバイルホットスポットの設定について

モバイルホットスポットの機能とは、コントローラーを無線 LAN のアクセスポイントにして、他のデバイスとネットワーク共有する機能となります。コントローラーがインターネットに接続されている場合は、他のデバイスからコントローラーのアクセスポイントを経由してインターネットに接続することができます。

設定方法:

- 1) 画面左下の検索ボックスに「モバイル ホットスポットの設定」と入力し、[モバイル ホットスポットの設定]をクリックする。
- インターネット接続を他のデバイスと共有します」を「オン」に変更します。

・「ネットワーク名」、「ネットワーク パスワード」、 「ネットワーク帯域」を変更する場合は、「編集」を クリックすることにより、任意の内容に変更するこ とができます。

・省電力設定を行うことで、デバイスが接続されて いないときに、モバイル ホットスポットの機能を自 動的にオフすることができます。



<u>3. 再セットアップ</u>

本項では、コントローラーの動作が不安定になったり、Windows が正常に起動しなくなったりした場合の再セットアップ手順を説明します。

再セットアップを行うには、あらかじめ回復ドライブとシステムイメージを準備する必要がありますので、以下の手順で回復ドライブの 作成とシステムイメージの作成を行ってください。

※操作にUSBマウスとUSBキーボードが必要です。

3-1. 回復ドライブの作成

USB メモリーを使用して回復ドライブを作成しておくと、Windows が起動しなくなったときでも USB メモリーを使用して、システム イメージを復元することができます。

※回復ドライブの作成には、2GB以上のUSBメモリー(空き領域 1GB以上)が必要です。

- コントローラーを起動し、2GB以上のUSBメモリ ー(空き領域 1GB以上)をUSBポートに取り付け る。
 USBメモリーはフォーマットされますので、大切な データが保存されたUSBメモリーは使用しないで ください。
- 2) 画面左下の検索ボックスに「回復ドライブ」と入力 し、[回復ドライブの作成]をクリックする。
- 「回復ドライブの作成」画面が表示されたら、「シス テムファイルを回復ドライブにバックアップしま す。」のチェックを外し、「次へ」をクリックする。

	- 779	1 1 1 1 2 2 1										
a 最も一致	する検索結果											
9	回復ドライブの コントロール バネ	0作成 -ル		-3								
アフリ (1)								回復	ジライブの	の作成		
								עב	но- <i>"</i> µ л	CRUL		
						s mk						
3												
오페	腹ドライブ の作	主成			٦							
	H: 🗖	e										
- D ğ	ドライブ											
	ドライブ	- FV										
- _{ロ復} 回復ド	^{ドライブ} ライブの作	成										
 回復ド PC を起い りすること インストー 	ドライブ ライブの作 動できない場 ができます。 ・ ルすることも	成 合でも、回復 システムファイ できます。	(ドライブモ (ルをこの)	E使用して ドライブに、	、PC をりセ バックアップ	ットしたり、『 すると、この	問題のドライ	トラブル ブを使用	シューテ・ 目して Wi	(ングを行 ndows	った再	
 回復ド 回復ド PCを超調りすること インストー 	ドライブ ライブの作 助できない場 ができます。 ルすることも	成 合でも、回復 システムファイ できます。	(ドライブモ (ルをこの)	E使用して ドライブに。	C PC をりセ バックアップ	ットしたり、 すると、この	問題のドライ	トラブル ブを使用	シューテ・ 目して Wi	(ングを行 ndows	った再	
 回復ド PC 転給 りすること インストー 	ドライブ ライブの作 助できない場 ができます。 ルすることも	i成 合でも、回復 システムファイ できます。	(ドライブぞ (ルをこの)	E使用して ドライブに	CPC をりセ バックアップ	ットしたり、『 すると、この	問題の	トラブル	シューテ・ 月して Wi	つグを行 ndows	った	
 回復ド PC を超いりすること インストー 	ドライブ ライブの作 助できない場 ができます。 ルすることも ・	成 合でも、回復 システムファイ できます。	(ドライブを (ルをこの) こパックア	E使用して ドライブに ップします	CPCをりせ バックアップ	ットしたり、『	問題の	トラブル	シューデ 月して Wi	(ングを行 ndows	った	
 回復ド PC 転組 りすること インストー ロシステ 	ドライブ ライブの作 かできない場 ができます。 ルすることも モムファイルを	「成 」合でも、回復 システム ファイ できます。 回復ドライブル	モドライブモ 「ルをこの」 こパックア	E使用して ドライブに ップします	、PCをりた パックアップ	ットしたり、 F すると、この	問題のドライ	トラブル	ジュー 7 . 見して Wi	(ングを行 ndows)	った	
 回復ド PC 差総計 りすること インストー ロシステ 	ドライブ ライブの作 助ができない細 ができます。 ルすることも ・	成 合でも、回復 かステム ファイ できます。	ミドライブミ バルをこの コート	を使用して ドライブに」 ップします	C PC をりセ バックアップ	ットしたり、『 すると、この	問題の	トラブル	シュー テ 見して Wi	ロングを行 ndows	ったを再	
 回復ド PC 転給 PC 転給 PT 転換 PT 転換 PT 10 	ドライブの作 動できない場 ができます。 ルすることも	F成 合でも、回復 システムファイ できます。	tドライブモ ルをこの	を使用して ドライブに ップします	: PC をりせ パックアップ	ットしたり、き すると、この	問題の	トラブル	シューテ・ 見して Wi	(ングを行 ndows)	った	
 回復ド PC 転給 りすること インスト 	ドライブの作 ライブの作 動できない場 ができます。 ルすることも	「成 合でも、回復 システムファイ できます。	ミドライブモ ルをこの こパックア	生使用して ドライブに ップします	: PC 私りセック パックアップ	ットしたり、1 すると、この	問題の	トラブル	シュ - デ	(ングを行 ndows	った	
 回復ド 回復ド PC 転組 りすること インスト ロンスラ 	ドライブ ライブの作 動できない場 ができます。 ルすることも Fムファイルを	i成 合でも、回復 システムファイ できます。	ミドライブラ バルをこの ロート	E使用して ドライブに ップします	: PC 私りセ (ックアップ	ットしたり、8 すると、この	問題の	トラブル	シュ - デ 見して Wi	いグを行 ndows	った声	

4) 「回復ドライブを作成中」画面が表示され、回復ド ライブが作成される。

	2
🔶 🖙 回復ドライブ	
回復ドライブを作成中	
ドライブのフォーマット中	
	de set set all
	7772/2
← 👝 回復ドライブ	
回復ドライブの準備ができました	

5) 「回復ドライブの準備ができました」画面が表示さ れたら、[完了] をクリックする。

6) タスクバーの通知領域に表示される 0 をクリックし、Windows の手順に従って、USB メモリーを取り外す。

3-2. システムイメージの作成

システムイメージを作成すると、システムイメージを作った時点の環境をそのまま復元することができます。

- ※ システムイメージの作成には、16GB 以上の USB HDD (空き領域 8GB 以上) が必要です。
- ※ USB HDD はNTFSでフォーマットされている必要があります。
- ※ USB メモリーは使用できませんので、ご注意ください。
- ※ USB HDD にシステムイメージを再度保存する場合、上書きされますのでご注意ください。
- 1) コントローラーを起動し、16GB以上のUSB HDD (空き領域8GB以上)をUSBポートに取り付ける。 USB HDD はフォーマットされません。
- 2) 画面左下の検索ボックスに「バックアップ」と入力し、「バックアップの設定]をクリックする。

 「バックアップ」画面が表示されたら、「[バックア ップと復元]に移動(Windows 7)」をクリックする。

4) 「システムイメージの作成」をクリックする。



5) 「ハードディスク上」を選び、USB HDD を指定し た後、[次へ] をクリックする。

- バックアップの設定を確認した後、[バックアップの 開始]をクリックする。
- X 💰 システム イメージの作成 バックアップをどこに保存しますか? システムイメージは、Windows の実行に必要なドライブのコピーです。追加のドライブを含めることもできます。 システムイメージは、ハードドライブまたはコンピューターが動作を停止した場合に、コンピューターの復元に使用 できます。ただし、復元する項目を個別に選択することはできません。 ハードディスク上(H) 、 ボリューム (E:) 8.73 GB 空き ドライブ上の最新パックアップ: 2020/07/01 9:43:32 〇1つ以上の DVD 上(D) ○ ネットワークの場所上(T) 選択(S)... 次へ(N) キャンセル ← 🛋 システム イメージの作成 バックアップの設定を確認します バックアップの場所: ■ ボリューム (E:) パックアップには 18 GB のディスク領域が必要です。 ▲ このコンピューターに関する既存のシステムイメージは、上書きされる場合があります。 次のドライブのパックアップが作成されます: EFI システム パーティション Windows (C:) (システム) バックアップの開始(S) キャンセル 📣 システム イメージの作成 × バックアップを保存しています... L バックアップの停止(S) システム イメージの作成 システム修復ディスクを作成しますか? システム修復ディスクを使用してコンピューターをブートできます。システム修復ディス クに含まれている Windows システム回復ツールを使用すると、重大なエラーから Windows を回復させたり、システム イメージからコンピューター イメージを再適用 することができます。 □ 今後、このメッセージを表示しない はい(Y) いいえ(N)
- 7) バックアップの保存が開始される。

 「システム修復ディスクを作成しますか?」が表示 されたら[いいえ]をクリックする。

別途、回復ドライブを使ってブートを行うため、シ ステム修復ディスクを作る必要はありません。 9) 「バックアップは正常に完了しました。」画面が表示 されたら、[閉じる] をクリックする。



10) タスクバーの通知領域に表示される 📋 をクリックし、Windows の手順に従って、USB メモリーを取り外す。

3-3. 回復ドライブとシステムイメージを使った復元

コントローラーの動作が安定しない場合や、Windows が起動しなくなった場合は、「3-1 回復ドライブの作成」で作成した回復ドライブ(USB メモリー)と「3-2 システムイメージの作成」で作成したシステムイメージ(USB HDD)を使用して、PC を復元することができます。

- ※ システムイメージを作った時点の環境がそのまま復元されます。
- ※ あらかじめ回復ドライブとシステムイメージを作成しておく必要があります。
- 1) 回復ドライブの USB メモリーとシステムイメージの USB HDD をコントローラーの USB ポートに取り付ける。
- コントローラーを起動し、右図の画面が表示された
 ら、キーボードの[DEL]キーを連続的に押す。
- BIOS 画面が表示されたら、[Save & Exit]のタブから[UEFI:ドライブ名]を選択し、[Enter]を押す。

 See more keyboard layouts (その他のキーボー ドレイアウトを表示)]を何度か選択し、[Japanese (日本語)]が表示されたら選択する。

5) [Troubleshoot (トラブルシューティング)]を選択 する。

 [System Image Recovery (イメージでシステムを 回復)]を選択する。



- 8) [Window 10] を選択する。
- 9) 使うシステムイメージの情報を確認し、[Next 3]を クリックする。

10) [Next >]をクリックする。

11) [Finish]をクリックする。

- 12) [Yes]をクリックする。
- 13) 復元が完了するまで待つ。
- 14) 左の画面が表示されたら、[Restart now]をクリックし、再起動する。
 しばらく経つと、自動で再起動します。

